

2014年3月27日
株式会社 住金システム建築
代表取締役社長 加藤真一郎

中国地区で受注躍進

今期、中国営業チーム（下司チーム長）の受注が好調である。通期の受注高は昨年度の8.9億円の2倍弱の16.6億円を予想、2005年度の9.9億円を更新し、過去最高となる見込みである。

同地区は1994年より営業専任者を配置、現在、営業3名工事1名が常駐している。地域密着型の営業を積極的に展開しており、24時間での見積対応の他、営業マン自らが簡易な構造解析ソフトを駆使して行う迅速なVE提案も評価されている。また、元請を行わないビジネスモデルも主要顧客である設計事務所やゼネコンから信頼を得ている。

中国地区の成約棟数（見込み）は全18棟、内、用途別では工場4棟、倉庫5棟、店舗5棟、その他4棟。商品別ではティオ8棟、トレオ10棟である。中国5県で万遍なく受注している。大型物件も増えており、1棟当たりの平均床面積は2,566㎡である。

（※2012年度通期の受注棟数は18棟、平均床面積は1,380㎡）

一方、全国の通期の受注高は、これまでの記録である2012年度の105億円の45%超の150億円台を予想、過去最高となる見込みである。主たる販売先である「住金システム建築会」の会員は、今期94社増え、2月末で964社となった。内、中国地区では11社増え、108社となった。

（施工例）



物件名／「JA 広島市 安佐葬祭会館」
建設地／広島市 商品／トレオ 1階／施工床面積／452㎡ 建築主／JA 広島市
設計／全農広島一級建築士事務所 施工／鴻治組 特記／JAが経営する葬祭会館への採用